

日本 MOT 学会 冬季セミナーのご案内

(日本 MOT 学会、JATES 共催)

日本 MOT 学会

副会長 企画委員長 富田 公夫

日産自動車株式会社 フェロー技術担当執行役員

(社) 科学技術と経済の会 (JATES) 常務理事 太田 健一郎

前略、

会員の皆様には、日頃から多大のご支援をいただき、誠に、ありがとうございます。

今般、内平直志先生、平林裕治先生にご講演をいただくこととなりました。

下記のとおりご案内を差し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

日時：平成 23 年 12 月 13 日 (火) 午後 6 時から 8 時まで

場所：田町キャンパスイノベーションセンター7階 711 号室

<http://www.isl.or.jp/campusinnovation.html>

テーマ：「J S T 問題解決型サービス科学研究開発プログラムにおける研究開発マネジメント」

演題 1：「産学連携プロジェクトマネジメントの知識継承手法の検討」

主な論点：

22 年度 J S T 問題解決型サービス科学研究開発プログラムに採択された「音声つぶやきによる医療・介護サービス空間のコミュニケーション革新」プロジェクトの概要を紹介するとともに、P J メンバーの過去プロジェクトの振り返り分析結果を本プロジェクトの将来の機会とリスクの抽出に用いる試みに関して紹介する。

内平直志先生のご略歴

東芝 研究開発センター 技監

東京工業大学理学部情報科学科卒。東芝 研究開発センター 次長を経て、現在、研究開発センター技監。東京工業大学からソフトウェア工学で工学博士、北陸先端科学技術大学院大学より「研究開発プロジェクトマネジメントの知識継承」というテーマで知識科学博士を授与された。IEEE Technology Management Council Japan Chapter Secretary。

演題 2：「事業化を想定した研究開発マネジメント」

主な論点：

産学連携、異業種連携の研究開発プロジェクトでは、メンバー間の価値観の相違に配慮した目標共有が必要である。プロジェクトの目標を共有するために、①対象サービスの設定、②技術と対象サービスの関連付け、③仮想事業モデル構築 について、これまでに検討した内容を紹介する。

平林裕治先生のご経歴：

清水建設 技術研究所 プロジェクトリーダー

早稲田大学理工学部卒業後、清水建設入社。技術研究所で建設作業用ロボットや施工管理システムなど、生産技術の研究開発に従事。インキュベーションセンター、企画部を経て、現在、空間サービスプロジェクト プロジェクトリーダー。北陸先端大学院大学知識科学科修士課程・MOT 修了。著書に「よくわかるこれからの MOT」(同文館出版)がある。

参加申し込み方法：

メールで、所属、氏名、日本 MOT 学会員または JATES 会員を明記の上、下記の学会事務局あてに御申し込みください。会場の関係から先着順とさせていただきます。

申し込み先：

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-15-16 海洋船舶ビル 8 階 CANPAN センター ACNet 内「日本 MOT 学会事務局」担当係 Tel: 03-5251-3967 E-mail: ac159-mot@canpan.org

参加費：日本 MOT 学会員または JATES 会員は無料。その他の参加者からは、参加費として 2,000 円を徴収させていただきます。